

新型コロナウイルス感染症拡大防止について

新型コロナウイルス感染症については、昨年11月以降、新規陽性者の増加傾向が強まり、一部地域では再び緊急事態宣言が発せられるなど最大限の緊張感をもって対応する必要がある状況が続いており、国土交通省からも関係団体に対し注意喚起が繰り返し発出されてきました。

3月21日には1都3県の緊急事態宣言も解除されましたが、引き続き、リバウンド等が起こらないよう最大限の注意が必要です。

会員の皆様におかれましても、下図を参考に、「感染しない・させない」ため細心の注意を払うとともに、人との接触をできる限り減らすよう「多人数の集まる催し事の開催を控える」、「テレワークを推進する」等ご協力をお願いいたします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

